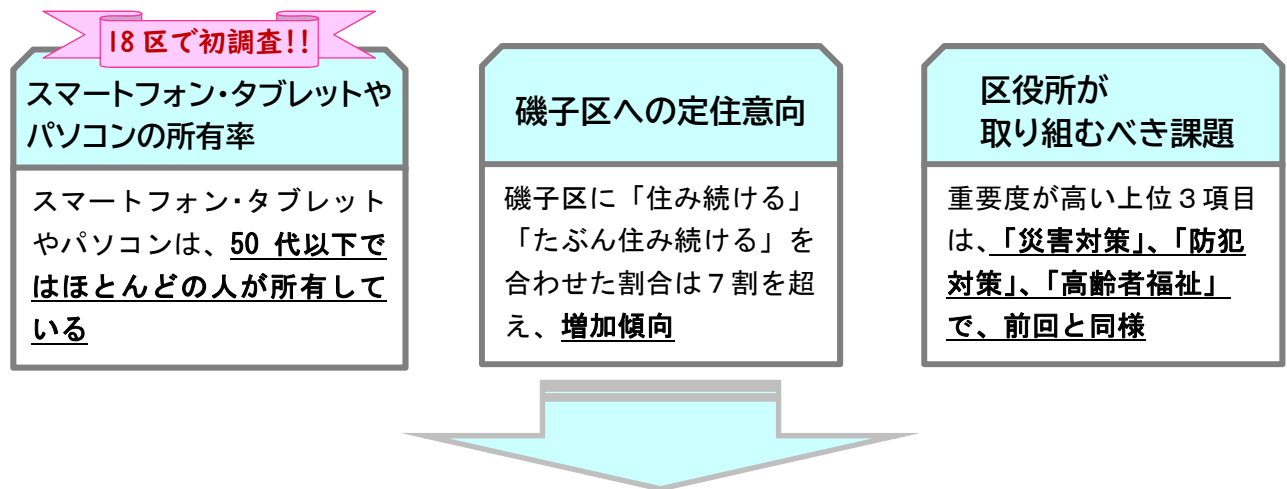


## 『令和3年度 磯子区民意識調査』の結果がまとまりました

磯子区では、今後も住みよいまちをつくるために、生活環境や地域活動等についての区民アンケート調査を、平成17年度より2年ごとに実施しています。

このたび、令和3年9月に実施した調査結果がまとまりましたので、お知らせします。



行政手続・情報発信手段のデジタル化を推進していくにあたり、18区の区民意識調査では初めてとなる、スマートフォンなどのICT機器所有率の調査を実施しました。

今回の調査で、区民の皆さまが日頃感じていること・考えていることを把握することができました。調査結果を今後の区政運営に生かし、だれもが安心して暮らせる、住みやすいまちを目指して、引き続き施策を進めていきます。

◇磯子区民意識調査の結果をまとめた報告書を、区のホームページで公開しています。

また、広報相談係（区役所1階11番窓口）でも閲覧いただけます。

<https://www.city.yokohama.lg.jp/isogo/kusei/tokei/ishikichosa.html>

### 1 調査の概要

調査対象：磯子区内に居住する18歳以上の男女3,500人（外国人104人含む）  
（住民基本台帳からの無作為抽出）

調査方法：郵送配付、郵送・インターネット回収

回答方式：無記名、選択式（一部記入式）

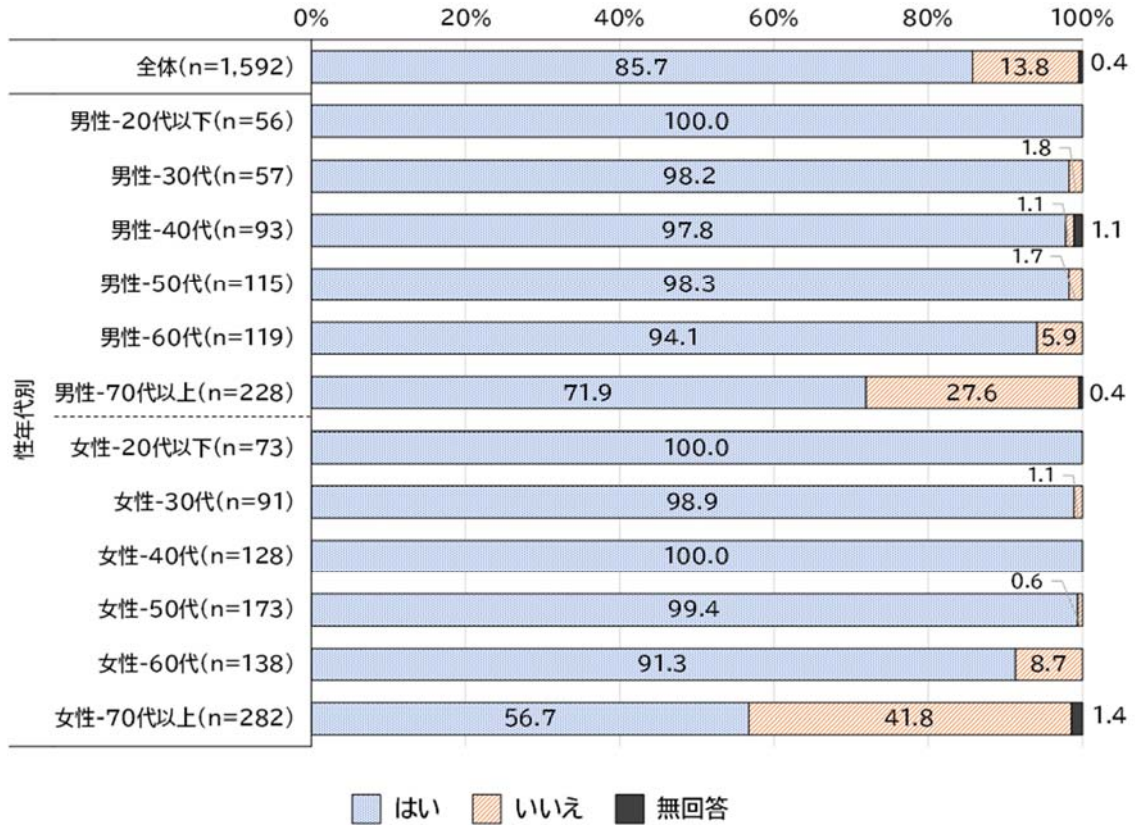
調査期間：令和3年9月1日（水）～9月30日（木）

回収数：1,592件（回収率45.5%）

## 2 主な調査結果

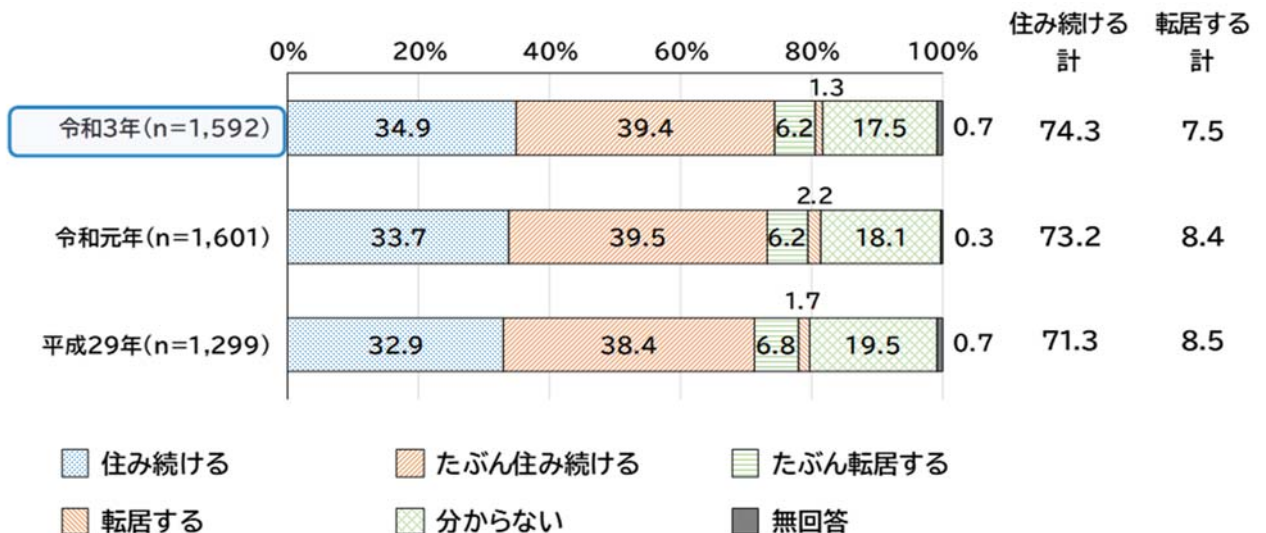
### Q あなたは、スマートフォン・タブレットやパソコンをお持ちですか。【令和3年度新規設問】

- ・性年代別では、男性、女性ともに60代以上で「いいえ」が他の年代より高くなっている。特に「女性70代以上」で「いいえ」が41.8%と高く、所有率は年代が上がるほど低下する。



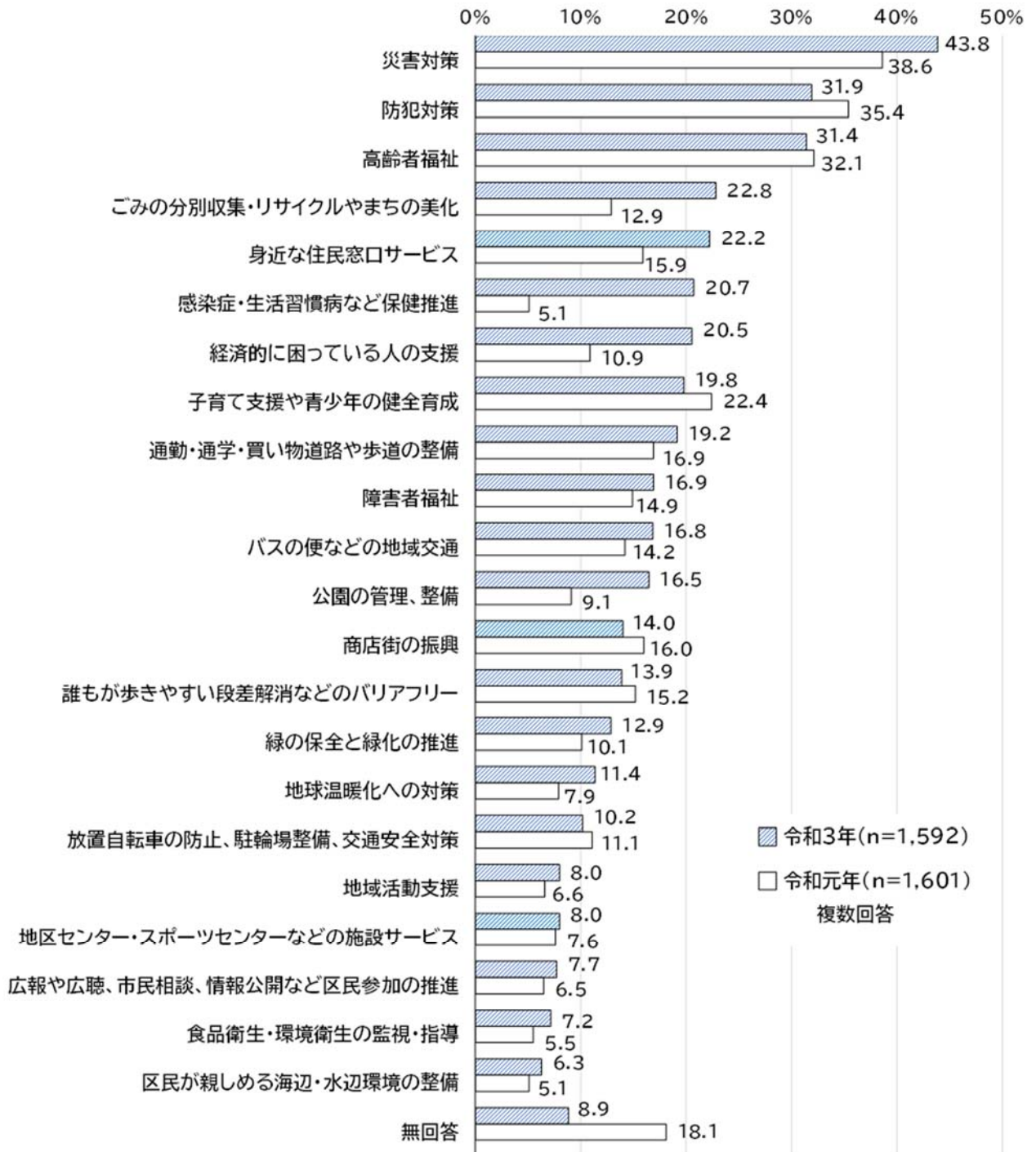
### Q あなたは、これからもずっと磯子区に住み続けたいと思いますか。

- ・「住み続ける」(34.9%)と「たぶん住み続ける」(39.4%)を合わせた『住み続ける計』は74.3%となっている。
- ・一方、「転居する」(1.3%)と「たぶん転居する」(6.2%)を合わせた『転居する計』は7.5%である。
- ・経年で比較すると、『住み続ける計』は増加傾向にあり、『転居する計』は減少傾向にある。



**Q 区役所が取り組むべき課題として重要度が高いものは何ですか。**

- ・最も多かったのは「災害対策」で43.8%。次いで「防犯対策」が31.9%と、安全・安心に関する項目が続く。
- ・前回調査と比較すると、「感染症・生活習慣病など保健推進」で15.6ポイント増加しているが、上位3項目は「災害対策」、「防犯対策」、「高齢者福祉」で前回と同様。



お問合せ先

磯子区区政推進課長 金川 守 Tel 045-750-2330